

保全業務実務担当者の知識修得と意識向上を目指して！

～ 平成26年度 中部地区官庁施設保全連絡会議 ～

官公庁施設の保全の適正化を推進するための取り組みの一つとして、保全に関する知識の取得と意識向上を目的に、庁舎を保全・管理している担当者を対象として、愛知・岐阜会場(7/30(水))・静岡会場(8/4(月))・三重会場(8/6日(水))の3会場において「中部地区官庁施設保全連絡会議」を開催しました。

会議では、中部地方整備局の職員が、昨年度の官庁施設の保全状況の調査結果や、地震・津波対策や施設管理者の役割などについて説明しました。

また、会場には、国の官署を始め、地方自治体や独立行政法人・財団法人の方など、3会場で計158名と多数ご参加いただき、普段、建物保全に関して困っていることについて理解できた等、好評の意見をいただきました。

●議 題

1. 国家機関の建築物等の保全の現況
2. 国土交通省インフラ長寿命化計画(行動計画)
3. 官庁施設の津波防災診断指針(平成25年4月版)
4. 官庁施設の地震・津波対策と施設管理者の役割
5. 施設と法的責任
6. 平成26年度保全実態調査及び官庁施設情報管理システム(BIMMS-N)の活用
7. 保全の基準類
8. 建築物の不具合の事例紹介

●開催写真



会議の様子



保全相談コーナーの様子



説明の様子